自然と共生する製紙原料事業

広大な森林の広がるカナダの豊富な天然資源を活用して、開発・保護の先進国でもあるカナダを8月5日、日本の探検隊8人が訪問した。カナダ西部の中心都市バンクーバーに拠点を置くカナダ三菱商事では、資源輸出に深くかかわる商社の仕事を学ぶ。アルバータ州では、紙の主原料のパルプを栽培する森林管理の現場を見学。現地の歴史や文化にも触れ、充実した訪問日程を過ごした。

参加した高校生リーダー

前列左から
五十嵐 真理さん（愛知県立千種高等学校3年）
谷 圭栄さん（東京都立青山高等学校3年）
矢谷 香織さん（香川県立丸亀高等学校3年）
小椋 瑞木さん（静岡県立沼津西高等学校3年）

後列左から
大庭 直也さん（福岡県立筑紫丘高等学校2年）
加藤 利幸さん（早稲田大学高等学院2年）
行徳 圭太郎さん（福岡大学附属大濠高等学校3年）
小宮 友輔さん（関西高等学校1年）

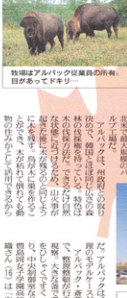
以上8人のメンバーが多数の応募者から選ばれました

豊かな自然が眼下に広がるオフィスでの和瀬社長（右端）の説明を熱心に聞く

リポート1 カナダ三菱商事を訪問 先を見越した事業展開

プロフィット・センター・コンピレイ（利益中心点）のアプローチは、日本をはじめ、アジアや欧州の企業向けにネットワークを広げるカナダ三菱商事の和瀬田社長。「資源豊富なカナダでは、資源の発掘から販売までを一貫して行うビジネスが盛んだ。カナダ三菱商事は、資源の発掘から販売までを一貫して行うビジネスが盛んだ。カナダ三菱商事は、資源の発掘から販売までを一貫して行うビジネスが盛んだ。カナダ三菱商事は、資源の発掘から販売までを一貫して行うビジネスが盛んだ。

目印に合わせポジションの確認をするアルパックの社員から「右に寄って」との指示を受ける



牧場はアルパック従業員の所有。目があってドキリ

リポート2 製紙原料工場を取材 環境保全の大切さ実感

アルパック州トスカーナ工場を訪問した。州都のエドモントンから北東へ車で約1時間半。バスからこぼれ落ちる雄大な自然の風景に、バンクーバー出身の探検隊メンバーからも感嘆の声が上がった。

アルパックのパルプ工場。乾燥時には白い蒸気が立ち上がる

リポート3 現地学生と文化交流 先住民の暮らしに学ぶ

アルパック訪問を終えた8人は、同じ宿泊先のキャンプ場で、夏休み中のアルパック従業員の子供たちと交流の場を持った。初めて会う同年代の子供たちに、探検隊メンバーは緊張した面持ちだったが、すぐに打ち解けた。

先住民の文化を紹介する物語るトーテムポール

交流会で贈り物を交換、笑顔が広がる

海外プロジェクト探検隊

三菱商事の海外事業や現地の文化を体験しよう

■「海外プロジェクト探検隊」とは

このプロジェクトは、一般から公募した高校生をリポーターとして海外に派遣し、現地で体験した内容をヨミウリ・オンラインで発表してもらうシリーズ企画。

現地では、三菱商事が海外で展開しているプロジェクトの現場を訪問するほか、現地の学生との国際交流や生活文化など、さまざまなプログラムを体験。未来の日本を担う高校生たちに、総合商社の仕事や異文化への理解を促し、今後社会で活躍するための糧としてもらうことを目指している。

現在まで、「アルミ&LNGプロジェクト」「タイ自動車プロジェクト」「中国繊維・物流プロジェクト」「オーストラリア石炭探鉱プロジェクト」の"探検隊"を実施しており、今回の「カナダ製紙原料プロジェクト」は5回目となる。

次回は、春休みに実施する予定。詳細が決定し次第、読売新聞の紙面で高校生リポーターを募集する。

Vol. 3（2006年8月）中国探検隊

Vol. 4（2007年1月）オーストラリア探検隊

高校生リポーターWEB新聞 ヨミウリ・オンラインで公開中！

高校生リポーターの現地取材模様や感想を"WEB新聞"に掲載しています。皆さんからのご意見、ご感想も受け付けています。ぜひアクセスしてください。

http://www.yomiuri.co.jp/adv/tanken/

■ 体験ツアー報告会

9月15日、「カナダ製紙原料プロジェクト」体験ツアーの報告会が開催されました。ツアーに参加した高校生たちは、体験したプログラムのツアーリポートを作成。カナダで展開する三菱商事のプロジェクトや中心に、現地で学んだことや感じたことなどを発表しあった。

続いて行われた懇談会には、「探検隊」Vol.1～Vol.4に参加したメンバーも合流。自己紹介や近況報告、自分が参加した際の体験談、今回のリポートの感想などについて話が弾んだ。